

経営比較分析表（令和5年度決算）

北海道利尻島国民健康保険病院組合 利尻島国保中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	ド透Ⅰ訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	3,659	第1種該当	-	13：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
42	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	42
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
42	-	42

グラフ凡例 ■ 当該病院値（当該値） — 類似病院平均値（平均値） 【】 令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の院間・ネットワークを基に）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

島内で唯一入院病床を有する基幹病院として、不採算地域において、島民の医療を確保する役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、昨年度と比較して16.9ポイント減少しており、コロナ関連補助金の終了が大きく影響している。医療収支比率は若干増加しているものの、今後の人口推移等から、患者数の増加は見込めないことから、病院機能の再編等、抜本的な対策が必要になってくる。そうした課題のなか、当院は島内の基幹病院として、入院医療の提供、救急受入など島内の医療需要に対応してきているが、限られた医療資源では対応できないことも多々あるため、緊急度、重症度に応じて専門機関への救急搬送や、都市部の専門病院等の紹介など、多様化する医療ニーズに対応している。

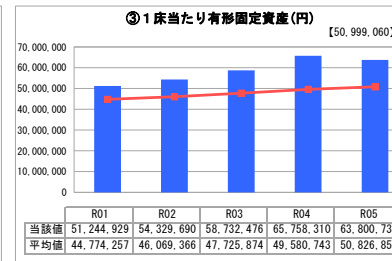
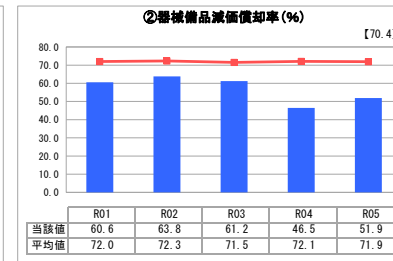
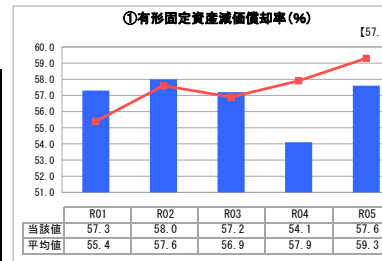
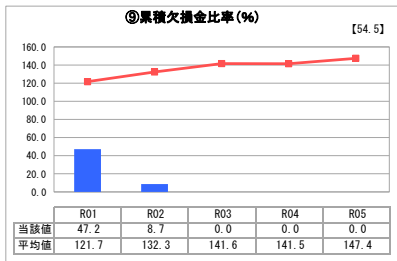
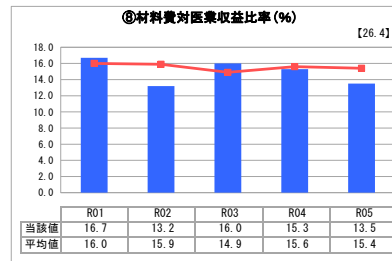
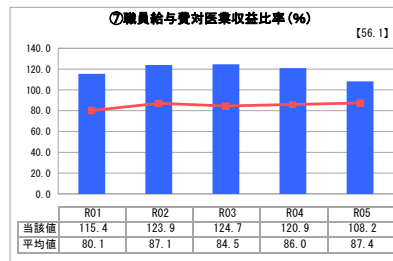
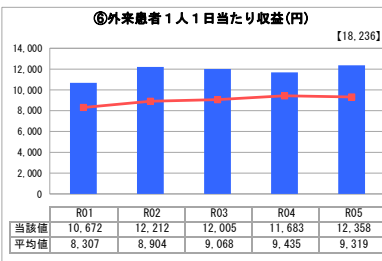
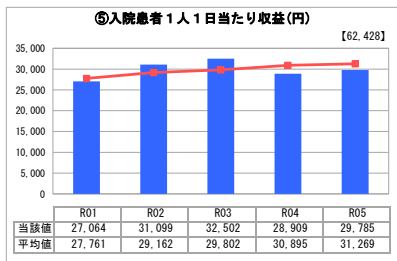
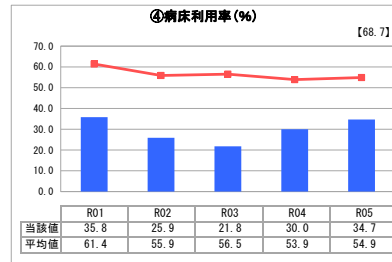
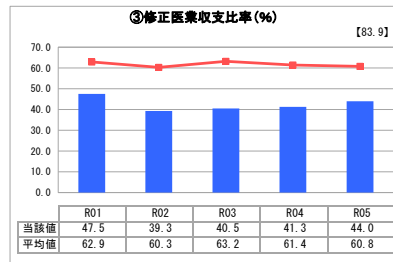
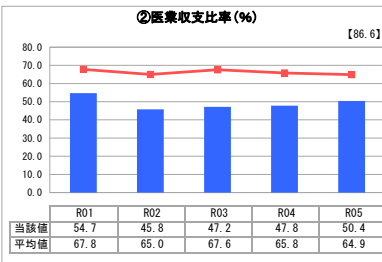
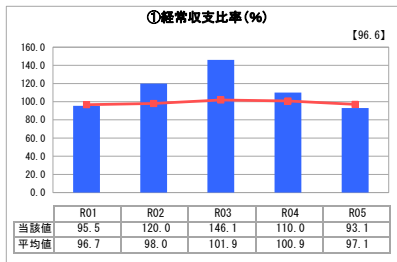
2. 老朽化の状況について

建物も築39年を経過し、老朽化が進んできていることから、建て替え等の検討も必要になってきているが、スプリンクラー設備の設置もあり、しばらくは現状を維持しなければならない。また、CTや電子カルテシステム等が耐用年数を迎え、更新対象となり、多額の費用がかかることが見込まれることから、更新投資についてはできるだけ経常収支で賄うことができるよう、経営しなければならない。

全体総括

離島という不採算地区において、島民の医療を確保する役割を担いながら、島民の健康、福祉の増進を図るため、島内診療所や福祉施設などと連携を強化し、体制構築に向けた取組を進める。また、費用の節減等を図り、健全な経営を実現する。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。